

NEWS RELEASE

夢工房翔裕園(障がい福祉サービス事業所)と日本薬科大学による 薬膳を意識した「元気餃子 カレー味」の完成試食会について

1 共同開発および商品完成までの経緯

社会福祉法人元気村(埼玉県鴻巣市、理事長 神成裕介)が運営する、障がい福祉サービス事業所 ゆめこうぼうしゅうゆうえん 夢工房翔裕園は、2020年8月に生餃子(冷蔵・冷凍)「元気餃子」の製造/販売を開始した。一般的な餃子に加え、「よもぎ」や「ニンニク」も含めて全3種で展開してきたが、2021年1月、コロナに負けない健康なカラダづくりにつながり、年齢や国籍を問わず学校や施設での調理が容易な餃子を考案するべく、鴻巣市と連携協定を締結している日本薬科大学との意見交換が開始された。施設の栄養士が中心となり、元気村グループ内の関東福祉専門学校に在籍する留学生らの意見を参考にしつつ、日本の食文化に合った「カレー味」を選定した。井上スパイス工業(上尾市)、オリエンタルフーズ(川口市)の協力、日本薬科大学(埼玉県伊奈町、学長 丁宗鐵)の監修により、漢方・栄養・健康の知見を活かし、薬膳を意識した健康で美味しい「カレー餃子」を開発した。

2 完成試食会

日 時	2022年12月23日(金) 15:30~16:30		
会 場	鴻巣市役所 市長応接室		
出席者 (敬称略)	元気村グループ 夢工房翔裕園 フラワーコミュニティ放送 日本薬科大学 日本薬科大学 日本薬科大学	HR推進部 施設長 専務 副学長・教授 参事・特任教授 地域連携室 室長補佐	渡邊 亮 百合川 祐司 山田 照夫 都築 稔 矢嶋 行雄 齋藤 正

●夢工房翔裕園について

2010年5月、法人内初の通所型の障がい福祉サービス事業所として開設し、「就労移行支援事業」「就労継続支援B型事業」のサービスを提供している。自動販売機で購入出来る焼き芋の販売、VR ゴーグルを使った不測の事態の対処方法を学ぶトレーニングなど、時代の変化に合わせた先進的な挑戦を続けている。



●日本薬科大学について

西洋医学と東洋医学を融合した「統合医療の実現」を教育目標として掲げ、2つのキャンパス(さいたま、お茶の水)に2学科(薬学科、医療ビジネス薬科学科)を設置。2004年の開学以来、日本初の漢方薬学科(現在は漢方薬学コース)を設置するなど、健康や医療に関するリソースを活かし、学生と共同で地域・産学連携商品を次々と開発している。



<本リリースに関するお問い合わせ先>

社会福祉法人 元気村グループ 夢工房翔裕園 百合川祐司 TEL 048-540-5000 (代表)